

やけのそよ風



No.25

令和4年12月2日
大阪市立焼野小学校
校長 川辺 智久

「大造じいさんとがん」(5年生 国語科の学習より)

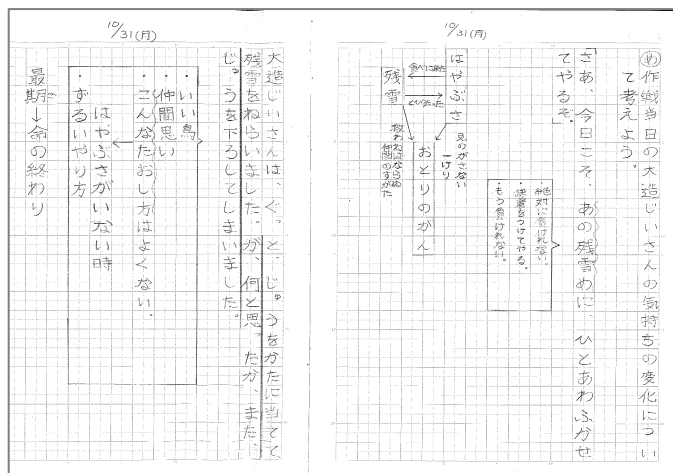
「校長室だより」9月22日号でも紹介しましたが、本校では、子どもたちの言語能力の育成や、教員の授業力向上をめざして「文章で表現する力をつける」をテーマとして国語科の実践研究に取り組んでいます。10月31日には「授業研究会」として、全教員で5年生の国語科「大造じいさんとがん」の授業を参観し、より効果的な指導・支援を行うためにはどのような工夫ができるのか討議したり、市教育センターの講師先生に授業改善に向けて助言をいただいたりしました。



「大造じいさんとがん」の物語は、ご存じの方も多いと思います。猟師である「大造じいさん」と、がんの頭領である「残雪」との3年にわたる「戦い」を中心に展開する物語です。場面の情景や人物の心情の移り変わりを読み深めることで、登場人物の生き方にせまることができる物語文で、古くからいろいろな教科書で取り上げられてきました。小学生の頃に教科書で読んだ保護者の方もきっとたくさんおられることでしょう。大造じいさんの計略とそれに対抗する残雪の知恵がくり返し描かれ、計略失敗に悔しい思いをしながらも、残雪の知恵に感心し、さらには仲間を守ろうとする堂々たる姿を見て、大造じいさんの心情は変化していきます。

この日の授業では、「おとり作戦」の場面での大造じいさんの気持ちの変化を考えました。

子どもたちは、本文の記述から、大造じいさんの心情の変化がもっともよく表れている1文を



抜き出し、その時の大造じいさんの気持ちについて考えました。一人一人が考えた内容は、グループで意見交流をしたり、全体で話し合って考えを深めたりしました。子どもたちは、物語の内容を深く読み取ったり、考えたことをしっかりノートに書いたりして一生懸命学習していました。最後に、大造じいさんの「つぶやき」を書くことで、学習を振り返るようにしました。大造じいさんの残雪への見方の変化について、子どもたちは次のようにノートに書いていました。

- ・最期の時を感じて戦おうとしているのに、勇かんだと思う。仲間のために命をかけるのがすごい。
- ・これで(残雪を)たおしてもうれしくない。せめて傷がなおってから戦いたい。
- ・いまいまいましいと思っていたけれど、残雪は仲間思いですごくいい鳥と今さら気づいた。自分がしかけたわなも、仲間がけがをしないためにみやぶっていたんだ。
- ・このゆうかんな残雪の行動は一生忘れない。ここで残雪をうってしまったら、あとのおれの人生が楽しくなくなる。
- ・なんでいままで「いまいまいましい」とか、「たかが鳥のことだ」とか言っていたのか……。前までの自分は何をしていたんだ！もうこんなずるいことをしたくない。

ノートの記述から、子どもたちが物語にどっぷり入り、大造じいさんの思いをしっかりと考えていることがわかります。
(裏面に続く)



話は少し変わりますが、「大造じいさんとがん」は、椋鳩十（むくはとしゅう）が、太平洋戦争が始まる直前の昭和 16 年に発表した童話です。1970 年頃、この童話に対して、「大戦直前に発表した『大造じいさんとがん』には『おれたちはまた堂々とたたかおうじゃあないか』と少年読者を戦争へ駆り立てる意図があったのではないか」との批判を受けたことがありました。これについて椋は、「戦

時中『死ぬことが美しい』という考え方が広まった。そうではなく『生きることこそ美しい』ことを強調したかった。不合理で、非人間的な軍国主義の時代だからこそ、『動物ども』の生命の尊厳をうたいあげることが、最も痛烈にクレージーな時代を告発することになると私は信じた」と心境を語っています。戦争が正当化される世にあっても、それに屈することなく、動物の姿に託すことで「命の重み」を伝えたい……。そんな強い思いで椋鳩十が子どもたちに向けて書いた作品です。そのため、「生きること」への切実な想いが物語の随所ににじんでいます。大造じいさんや残雪がそれぞれの「自負」を曲げることなく、精いっぱい生き抜く姿に、生きることの美しさと厳しさを見いだすことができます。「大造じいさんとがん」は、子どもたちだけでなく、大人にとってもきっと大切なことを教えてくれる物語ではないでしょうか。

「生きること」とは……。子どもたちに説明するのは難しいですね。童話などの物語は、美しい文章や絵で子どもたちに様々なことを伝えてくれます。物語という形をとっているからこそ子どもにも伝わりやすく、考える力や想像する力が自然と身に付いていきます。子どもの頃に読んだことがあっても、大人になってもう一度読むと、新しい気付きや発見があったり、読みが深まったり、まったく違う感想を抱いたりすることがあります。子どもたちに豊かな心を育てていくために、ぜひいろいろな本を親子で読んでみてください。



やけの Diary

★子どもたちの学校生活のようすは、本校ホームページでも紹介しています。随時更新していますので、ぜひご覧ください。

【作品展】 11 月 25 日（金）・26 日（土）・29 日（火）

子どもたちの力作はいかがだったでしょうか。保護者の皆様のご来校、ありがとうございました。



※「校長室だより」カラー版は、本校ホームページ「配布文書」にアップしています。